



夜間や休日の体調不良
どこで診てもらえるの？

～夜間・休日の受診方法を知りましょう～

「子どもが熱を出した」、「急におなかが痛くなった」
普段、健康が当たり前のように過ごしていても、突然体調を崩すことがあります。特に、医療機関が診療していない夜間や休日に体調を崩した場合、どこで診てもらえるのか、救急車を呼んでよいのか、不安な気持ちになることでしょう。

今回の特集は、夜間・休日の受診方法についてお知らせします。
■問い合わせ 土岐市及び瑞浪市休日急病診療所組合（保健センター内・☎552010）

土岐市及び瑞浪市休日急病診療所待合室の様子

日本の救急医療機関は、比較的症
状の軽い患者に対応するための一次
救急医療機関、入院や手術が必要な
重症の患者に対応するための二次救
急医療機関、命に関わる特に症状の
重い患者に対応するための三次救急
医療機関で構成されています。

夜間在宅当番医と休日急病診療所

現在、市では、夜間などの一次救
急医療に対応するため、夜間在宅当
番医を(社)土岐医師会に委託し、所
属する土岐市および瑞浪市内42カ所
の医療機関が、毎日順番に当番診療
所として待機しています。診療時間
は、平日と日曜日・祝日は午後6時
～午前0時までで、土曜日は、午後
1時～午前0時までです。

また、休日中の一次救急医療に

夜間・休日の医療機関利用状況		
●夜間在宅当番医		
年度	22	21
利用者数	997人	1,172人
(土曜日午後)	191人	213人
(夜間)	806人	959人
開設日1日当たり	2.7人	3.2人
●休日急病診療所		
年度	22	21
利用者数	1,331人	1,857人
(日・祝日)	1,186人	1,703人
(年末年始)	145人	154人
開設日1日当たり	19.2人	26.5人
※瑞浪市・その他の利用者を含み、二次救急医療機関を含まない。		

は、休日急病診療所を開設していま
す。駄知町にあるこの診療所は、内
科・小児科を診療科目とし、日曜日、
祝日、年末年始の午前9時～午後5
時30分まで、医師1人・薬剤師1
人・看護師1人の体制で応急医療に
当たっています。

二次・三次救急医療機関によるバックアップ

二次救急医療機関とは、地域の病
院などが休日・夜間における入院や
手術など、高度な治療が必要な重症
救急患者の受け入れを輪番制で行う
医療機関のことです。この地域では、
土岐市立総合病院と瑞浪市の東濃厚
生病院が当たっています。

二次救急医療機関は、二次救急体
制では対応できない重篤な救急患者
を受け入れる医療機関で、
多治見市の県立多治見病
院が当たります。

このように、医療機関
には、その規模や設備な
ど、それぞれに応じた役
割があります。皆さんも
受診するときは、症状に
合った医療機関での受診
を心掛けましょう。



救急の日は、救急業務およ
び救急医療に対し、市民の皆
さんの理解と認識を深めてい
ただくとともに、救急医療関
係者の意識の高揚を図ること
を目的に、昭和57年に定めら
れました。

さて、私ども、土岐医師会
(土岐市・瑞浪市)では、国
が救急の日を制定する4年前
昭和54年より第一次救急医療
を開始、本年ですでに32年を
経過、改めてご案内申し上げ
ます。

その内訳は、年間を通して
の日曜日、祝祭日は駄知町に
ある休日急病診療所に一次
救急患者様の対応、日曜・祝
祭日を含むすべての夜間は、
会員諸先生のそれぞれの医療
機関で夜間在宅輪番制当直を
会員がローテーションを組ん
で、各諸先生が黙々と当然の

救急の日 (社)土岐医師会会員による第一次救急医療体制 (1年365日24時間急病患者対応)のご案内

土岐医師会 会長 熊谷恒朗

責務としてお務めいただいで
いることをご紹介します。つ
まり、年末年始を含めて1年
365日24時間医師会会員の
先生の誰かが待機しておりま
す。まさに1年全日をカバー
しているのが、土岐医師会会
員の地域医療に貢献する姿で
す。

この体制・システムを常時
円滑にサポートしていただいで
いるのは、一次救急で対応
できず、二次救急で大変お世
話になっている土岐市立総合
病院、東濃厚生病院の諸先生
方であり、また運営面では、
土岐市・瑞浪市のご理解とご
支援があつてこそ、第一次救
急医療の存在があり32年間の
継続があるわけです。

われわれ土岐医師会会員一
同、先輩諸先生方の活動され
てきた偉業に敬意を表すると
もに、今後もさらに一層頑張
る所存です。このような、医
師会主導型で積極的に地域医
療に協力しているのは、岐阜
県下唯一土岐医師会のみであ
りますことを申し添えます。

レポート

～当番医のキモチ～

(土岐医師会会員 福田 革先生)

医療機関の診療時間外、比較的症状が軽い患者が受診する夜間在宅当番医。どんな方が受診し、当番医はどのように患者を受け入れているのか。診療所を取材しました。

ときもあれば、最多では24人のときもあり、曜日や季節などにより変動するそうです。患者層では、軽症の小児が大半を占めていて、診察の内容は処方だけでなく、検査や点滴などの処置をすることもあります。

救急の患者の症状はさまざまです。「医院の診察や限られた検査では診断が明確に付かず重症感のある患者様などは、二次病院にお願いすることになります。この時、極めて忙しいにも関わらず、紹介患者様を受けてくださる救急外来の医師、スタッフの方に感謝の念が絶えません。土岐市・瑞浪市の一次在宅システムは私たち開業医の参加だけでなく、地域の二次病院の協力があつて成り立つものだと痛感しています」と、福田先生は救急医療機関が連携することの大切さを訴えます。

福田先生に夜間在宅当番医として心掛けていることを聞くと、「特に小さなお子さんは急に体調を崩すことがありますし、症状をうまく伝えることができませんから、保護者の方は不安そうに付き添っ

てきます。多くは急を要する症状ではないのですが、それを聞くと安心して帰って行かれます。症状に応じた対処方をアドバイスして、患者さんやご家族の不安を和らげることに。これも私たちが在宅医の役割だと思っています」と穏やかに答えてくれました。

誰もが急に体調を崩すことがあります。そんなとき、夜間在宅当番医の診療所の明かりが私たちの安心をサポートしているのだと実感し、取材を終えました。



Q & A

Q. 休日や夜間に急に具合が悪くなった場合、どうしたらいいですか？

A. 休日の昼間（午前9時～午後5時30分）でしたら、休日急病診療所（駄知町・☎1500）で受診してください。夜間（午後6時～午前0時）でしたら、救急病院内（☎3799）でお尋ねください。当日の当番医療機関をご案内します。また、夜間在宅当番医は、土岐医師会のホームページでもご覧になれます。

休日急病診療所や紹介された医療機関を受診する際には、事前に電話で症状などを伝えてください。また、健康保険証と福祉医療費受給者証（乳幼児・重度など）をお持ちください。

受診の必要が無くなった場合には、問い合わせをした医療機関に、断りの電話を忘れないでください。

Q. 発熱や腹痛で二次病院を受診してもいいですか？

A. まずは、一次病院（休日急病診療所、夜間在宅当番医療機関）を受診してください。検査や手術の必要が疑われる場合は、一次病院の当番医が二次病院に電話連絡、あるいは紹介状を書き、二次・三次病院へ連携を取っています。

ただし、緊急性があると思ったらときは、迷わず救急車（119番通報）を呼んでください。

取材に訪れたのは、土岐市南町の「ひまわり小児科」。平成19年11月に開院し、翌年1月から一次在宅に参加されています。当番には、医師・看護師・事務スタッフの各1人で対応し、院外薬局も協力していただいているとのこと。

福田先生によると、夜間在宅診療には、平日夜間では午後6時から午後9時前後までに数名の方が受診し、その後、診療が終了する午前0時まで

に1～2人が受診されるそうです。患者数は、最低1人の



平成22年中の救急搬送者数

症別	割合
軽症	731人(35.1%)
中症	1,038人(49.8%)
重症	276人(13.3%)
死亡	38人(1.8%)
合計	2,083人

本当に必要とする人のために

救急車の適正な利用を

市では、1年間に約2100件、救急車が出動してきます。これは1日にすると5〜6件の出動となります。全国的にもいえることですが、当市でも救急搬送した人のうち約半数の方が、救急車での搬送が必要のない軽症程度の方でした。消防本部では、4隊の救急隊を配備し、24時間皆さんの救急要請に対応できるよう努めています。しかし、緊急性が低い救急要請が増えることで、本当に救急車が必要な人のもとへ、1秒でも早く救急車を到着させることができなくなってしまうのです。

このため、自家用車やタクシーなど、自分で医療機関へ行ける方は、救急病院案内を利用して受診し、救急車の利用は控えてください。もしも不適切な利用のため

に救急車の到着が遅れたら：大切な命を救うためです。救急車の適正利用に、皆さんのご協力をお願いします。

9月9日は「救急の日」

この日を含む一週間は、救急医療週間として、救急業務と救急医療について正しい理解と認識を深めてもらうために制定されています。

この機会に、救急車の適正利用をはじめ、身近で急病やけがなどが起こったときの対処方法についても考えてみましょう。

※応急手当については、市のホームページからご覧になります。

重症の場合

①救急車の要請（119番通報）

②応急手当（通報時に係員がアドバイスします）

自分で医療機関へ行ける場合

- ①救急病院案内（☎553799）
- ②自家用車やタクシーなどで医療機関へ向かう

（ 休日の日中・夜間に急病になったら… ） 土岐市及び瑞浪市休日急病診療所

医療機関	開設日	診療時間
休日急病診療所	日・祝日・年末年始 (12月31日～1月3日)	9:00～11:30 13:00～17:30
夜間在宅当番医(※)	平日夜間 日・祝日・年末年始の夜間	18:00～0:00
	土曜日 12月30日(日曜を除く)	13:00～0:00

※ 土岐市および瑞浪市内42カ所の医療機関が、毎日順番に当番診療所として待機しています。当番医は土岐医師会ホームページをご覧ください。救急病院案内（☎553799）へお尋ねください。

至肥田町
至瑞浪市
至下石町
土岐市瑞浪市
休日急病診療所
すし店
丸山橋
黙知郵便局 黙知支所

土岐市黙知町1272-5 (☎591500)